



2012年 2月3日

各 位

会社名 ハリマ化成株式会社
代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
(コード番号 4410 東証第一部、大証第一部)
問合せ先 常務取締役管理本部長 金城照夫
(TEL. 06-6201-2461)

為替差損の計上および業績予想の修正に関するお知らせ

2012年3月期第3四半期連結累計期間(2011年4月1日~2011年12月31日)において、下記のとおり為替差損の計上を行うことおよび最近の業績の動向等を踏まえ、2011年5月13日の決算発表時に公表しました2012年3月期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

I. 為替差損の計上について

昨今の為替相場の変動により、2012年3月期第3四半期連結累計期間において、為替差損777百万円を営業外費用に計上いたします。これは、主に2012年3月期第3四半期末時点における外貨建資産・負債を同日の為替相場で評価したことにより生じたものです。

なお、通期の為替差損益の額につきましては今後の為替相場の動きにより変動いたします。

II. 業績予想の修正

2012年3月期連結業績予想数値の修正(2011年4月1日~2012年3月31日)

(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	80,000	3,800	3,600	2,100	80.93円
今回修正予想(B)	73,000	3,200	2,100	1,300	50.09円
増減額(B-A)	△7,000	△600	△1,500	△800	—
増減率(%)	△8.8	△15.8	△41.7	△38.1	—
(ご参考) 前期実績(2011年3月期)	41,494	2,908	2,765	1,337	51.53円

III. 修正の理由

当社グループの関連する業界であります、印刷インキ・塗料・合成ゴム・製紙・自動車・電機業界におきましても、国内外を問わず、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、売上高につきましては、当初の予想より国内外で需要の減少が見られ、前回の予想を下回る見込みとなりました。また、利益面につきましては、原価低減や

経費削減等に努めましたが、売上高の減少、為替差損の計上等により、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回の予想を下回る見込みとなりました。

※上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上